

宮城県沿岸の高水温の状況について

令和7年7月 宮城県水産技術総合センター 環境資源チーム

➤2025年7月上旬までの宮城県沿岸の水温の状況をお知らせします。親潮の影響で下がっていた水温が、高い気温の影響で6月以降上昇し7月上旬は非常に高水温となりましたが、中底層では低い水温となっています。

海水温の観測結果

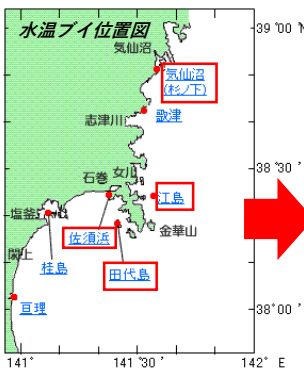
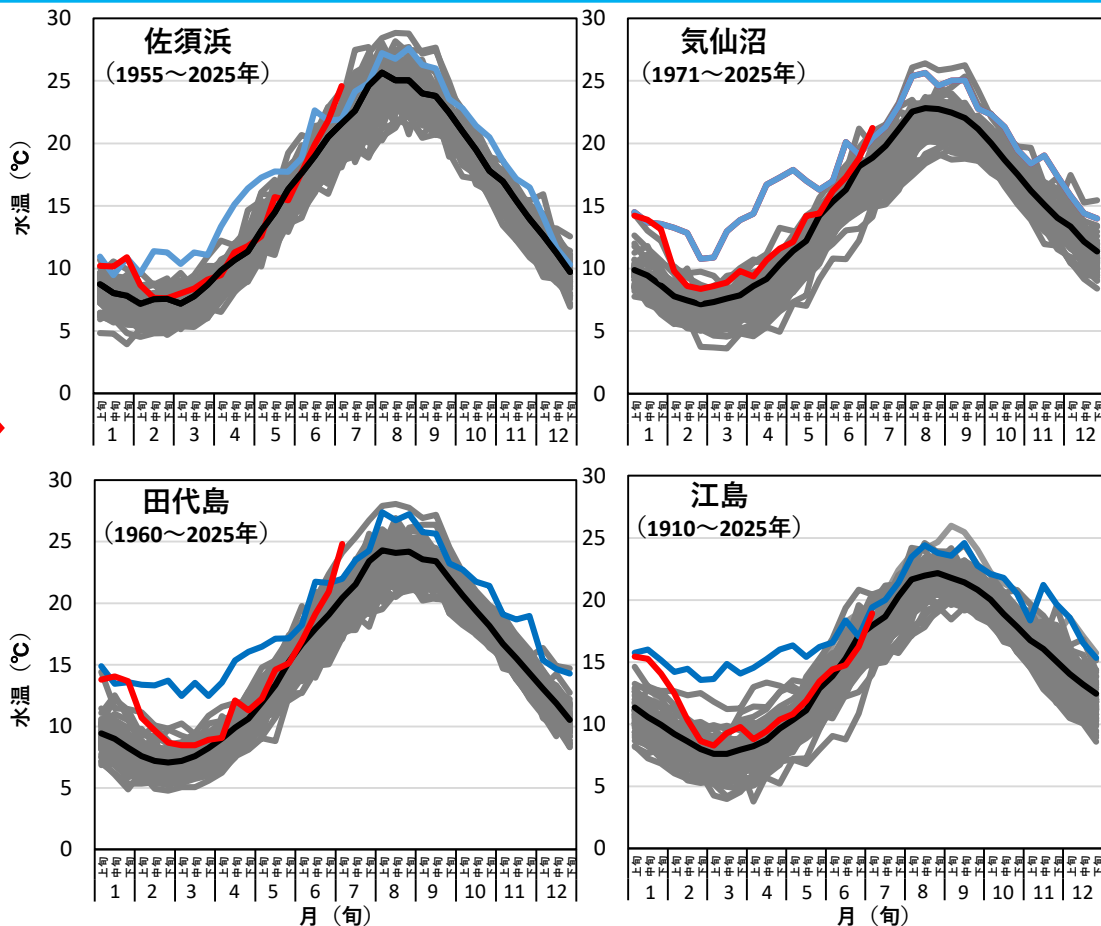


図1 気仙沼・江島・田代島・佐須浜の水温の2025年7月上旬までの水温の観測結果

— 2025年の観測結果
— 2024年の観測結果
— 平年値 (2014~2023年の平均)
— 過去の各年の観測結果



✓宮城県水産技術総合センターが運用している7台の水温ブイのうち、観測期間が50年を超える4台の水温観測結果（海面水温）を図1に示しました。

✓2025年5月下旬までは平年値と同程度の水温でしたが、6月以降上昇し、7月上旬には気仙沼、佐須浜、田代島において観測史上最高水温となりました。一方で、中底層では低めの水温となっています（裏面参照）。

2025年7月（海況と気温）

①7月上旬の海況図を昨年と比較すると、黒潮続流の位置は昨年よりも南にあり（図2）、海洋観測の結果からも宮城県沿岸に黒潮系水の波及はみられていません。

②2025年6月の石巻の平均気温は過去2番目に高い水準となっていました（図3）。

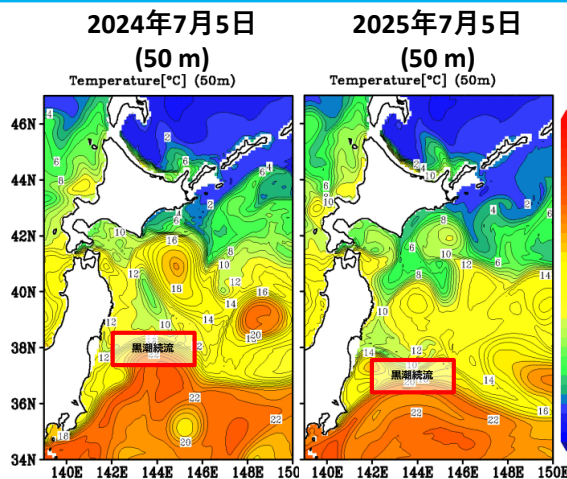


図2 2024年及び2025年7月5日の海況図

「改良版我が国周辺の海況予測システム」 <https://fra-roms.fra.go.jp/fra-roms/>

気象庁 石巻地点 (1887~2025年)

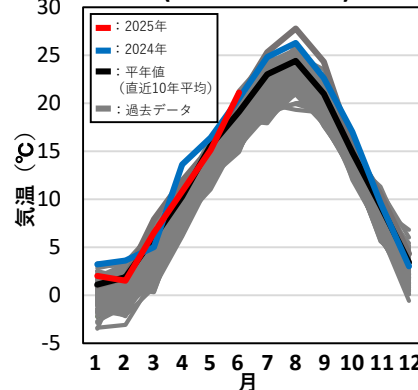


図3 石巻の気温の推移

気象庁の「過去の気象データ」から作成
<https://www.data.jma.go.jp/stats/etm/index.php>

7月上旬の表層水温の上昇について

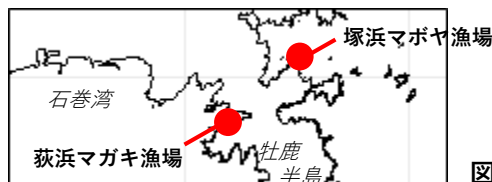
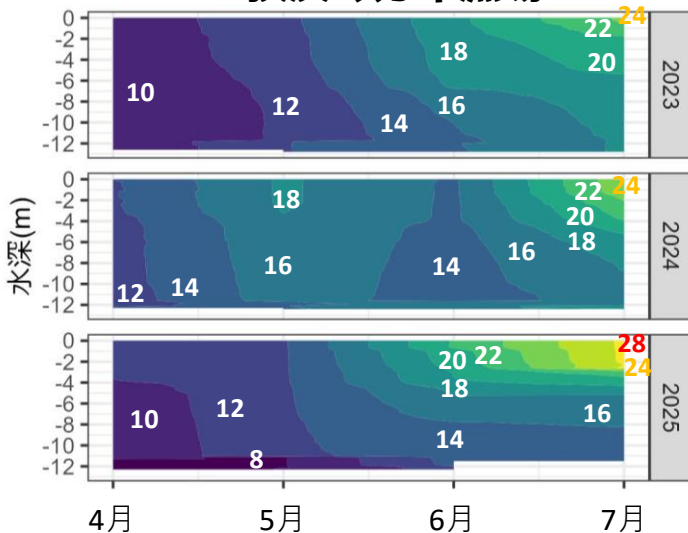


図4 貝毒調査点（荻浜マガキ漁場、塚浜マボヤ漁場の位置。

荻浜マガキ漁場



塚浜マボヤ漁場

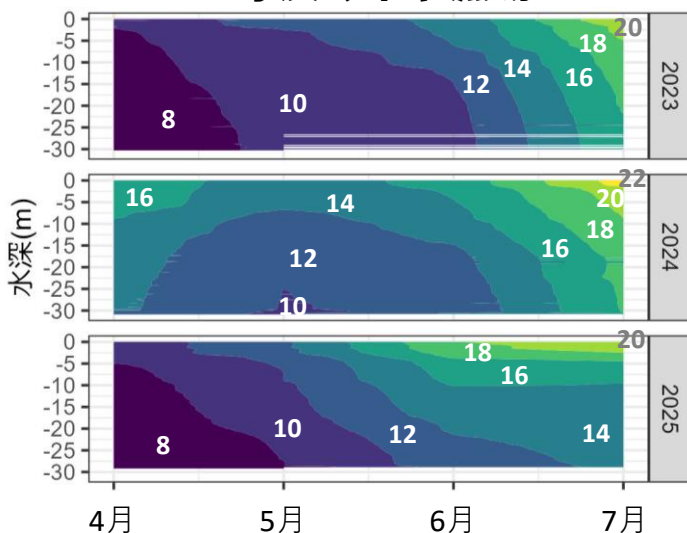


図5 貝毒調査点（荻浜マガキ漁場、塚浜マボヤ漁場）における2023～2025年の4～7月の水温の推移。等温線は2℃ごとに引いたもので、明るい色ほど水温が高いことを示す。

- ✓ 水温ブイで確認された高水温の要因等を調べるため、定期的に海洋観測を行っている荻浜及び塚浜の貝毒調査点の水温の推移を図5に示しました。
- ✓ 荻浜マガキ漁場における7月上旬の水温は、海面から水深2.6 mまで28℃台と過去2カ年を上回る極端な高温になっている一方、水深5 m以深では過去2カ年よりも低くなっています。
- ✓ 7月14日現在、黒潮系水と思われる高塩分の水塊が確認されておらず、また6～7月上旬の気温が高かったことから、表層の高水温の要因は高気温であると考えられます。
- ✓ 高水温が確認されているのは今のところ表層に近い層であり、7月11日以降は表層水温が低下傾向ですが、今後の動向にご注意ください。
- ✓ 塚浜マボヤ漁場においても、表層水温が高くなっていますが、極端に高い水準ではありませんでした。

親潮の南下と親潮系動物プランクトンの出現について

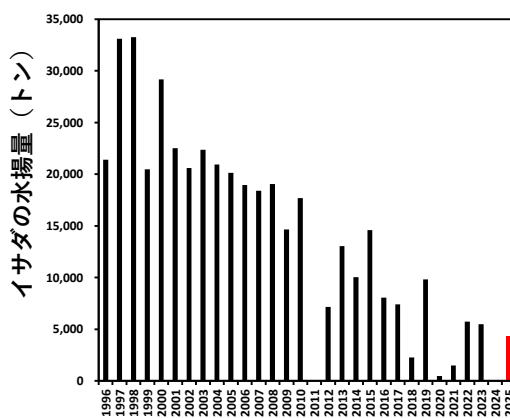
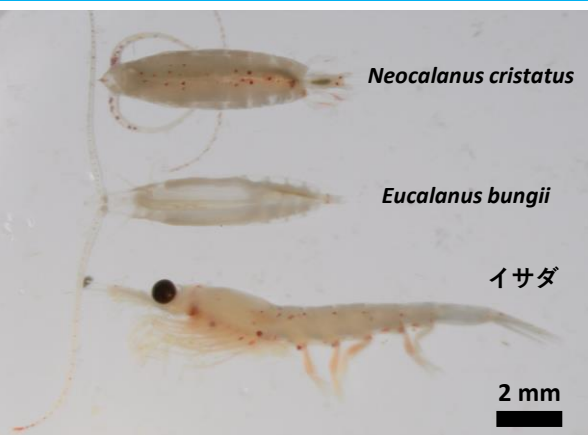


図6 左：ノルパックネットで採集した親潮系動物プランクトン。右：イサダの水揚げ量の推移。

- ✓ 宮城県沿岸では、2月以降親潮の波及が認められ、2年ぶりにイサダの水揚げがあったほか、親潮水域に特有の大型カイアシ類も確認されました。